

だれでも幸せになれる教えです!!

ひかり

2017年

3月

139号



宗教法人 真生会

平成二十九年信仰目標

衆善奉行
しゅうぜんぎょう

(たくさん善いことをする)

徳の器を大きくする

真生会の教えとは！

仏さまの智慧と

仏さまのものの見方を身に付け

自分の運命を変える

在家の法華経教団です。

宗旨宗派は問いません。

どなたでも安心してお越し下さい。

◇どの家庭も毎日が楽しく

ぬくもりと安心のある家庭になる

◇だれでも毎日がイキイキとし

ありのままに輝く自分になれる

◇幸福の五ヶ条

- 一、素直な心：（おかげさま）
- 二、誠の心：（まず人さま）
- 三、明るいい心：（きっとよくなる）
- 四、尊ぶ心：（仏性を拝む）
- 五、信じる心：（人みな仏の子）

開祖さまのみ教え

開祖 田中 偉仁
たなか ひでひと

転ころんだら起きる。起きたらすぐ走る。

これは開祖さまの幸せに到達するための究極の教えです。

「転ころんだら起きる」とは、

過ぎたことにいつまでも執とらわれぬ。なつたことをいつまでもクヨクヨしないということ。ヨクヨしないという事です。

「起きたらすぐ走る」とは、

先のことは心配しない。明日のことは誰でも何が起こるかかわからない。心配し過ぎたら不安になって次の一歩が出ない。

「なんとかなる、きっと良くなる」この信念で走り始めれば、きっと幸せな人生に到達できるのです。

ぶし眞教法話

会長 田中庸仁
たなか つねひと

◇大らかに人間らしく生きる

お釈迦さまは「中道実践」ちゆうどうじっせんの生き方を説かれました。

釈迦族の王子として生まれられたお釈迦さまは、欲しいものは何でも与えられ何不自由なく育ち、妻子にも恵まれ、栄誉栄華のいわゆる快樂の生活を過ごされましたが、どうしても心に満足が得られず二十九歳の時、妻も子も城も捨てて出家されます。三十五歳までの六年間、快樂とは真逆の難行苦行をされましたが、遂に悟りを得ることができませんでした。

お釈迦さまは極端な快樂主義や極端な苦行主義では悟りは開けないと気付かれ、快樂にも苦行にも偏らない「中道」こそが悟りへの道であることに目覚められたのです。何事にも執着せず、欲を離れて大らかに生きる。人間らしく生きる事が悟りに達する方法、楽しい人生を送る方法なのです。

欲のためにギスギス、イライラしていると人間関係を壊したり、病気になったりします。毎日をゆったりと楽しんで生きることが仏教の教えなのです。

◇仏教は出家の教え

仏教は本来出家が基本です。悟りを開くために世俗から離れて修行するので。それがお釈迦さまご在世時のスタイルです。しかし、頭を丸め、家や財産を捨て家族から離れて修行することのできる人は一部の人だけです。もちろん真生会は在家仏教です。お寺に入って修行しなければ悟りを開き幸せにならないのでしょうか。それは違います。

出家とは「出世間しゅつせけん」ということ。つまり、常識、学問、個人の体験という世間的な価値観から離れることが本当の出家という意味です。

一般社会のものの見方、常識の物差しではなく、仏さまのものの見方、仏さまの物差しで現実を見る。つまり普通の真理で現実の真実の姿を見るところとです。常識は「時代と地域と人」によって違い変化するものです。真理とは「いつの時代でも、どこでも、誰にでも」通用するのが普遍真理です。

◇無分別智が仏さまの智慧

「無分別」が仏さまのものの見方です。「分別ぶんべつ」が凡夫ぼんぷのものの見方です。一般的には「分別のある人」が常識人で、「分別のない人」が非常識のように言

いますが、仏教では反対です。仏さまの智慧と凡夫の知恵は百八十度違います。分別とは善悪、長短、早い遅いなど、物事を区別する知恵です。言い換えれば、物事を比較し、差別し、わけへだてをする見方です。無分別とは、比較したりわけへだてをしない、すべてを平等に見、違いをありのままに認めていく智慧です。仏さまの智慧がないとありのままの現実を正しく喜ぶことはできません。ただの無力で投げやりの人生、事なかれ主義になってしまいます。

◇苦を乗り越える方法

お釈迦さまの教えは、この世は苦である、苦の娑婆であると自覚することから出発しています。苦があるのが常態なのだから、いちいち「苦しめない」ということです。

苦とは何か！「自分の思う通りにならないこと」であります。しかし、これは「苦の原因」の半分です。自分の思い通りにならないことを思い通りにしようとするから苦になるのです。

思い通りにならないのが世の中です。生まれも育ちも親も環境も違う夫婦が思う通りにならないのが普通です。我が子も思うようになりません。自分の心

も自分ではなかなか思うようにならないのが普通です。

苦があるのが普通、生身の人間だから病気になるのが普通、生まれた限り死ぬのが普通なのです。たまたま苦のない状態がラッキー、健康なことがラッキー、生きていること自体がラッキーと気付けば、苦が苦でなくなるのです。諸行無常、真理以外のすべては変化するのが普通なので、何事にも執われないことです。

現実の事実をありのままに見、受け入れていくこと、「苦しめないこと」が苦を乗り越える唯一の方法なのです。

◇頑張りすぎない生き方

自分のキャパを超えて「オレが、自分が」と我を張ることが頑張るといふことです。思い通りにならないことを思い通りにしようといふと我を張りすぎる、頑張りすぎるから怒れるのです。怒りは病気、貧乏、災難の本です。健康を破壊し、経済を破壊し、幸福を破壊し、すべてを破壊していく恐ろしいエネルギーがあります。

・怒れるほど頑張りすぎてはいけません。

・病気になるほど頑張りすぎてはいけません。

・過労死するほど頑張りすぎてはいけません。

何事もほどほどの中道実践がいいのです。喜んでやれる分だけすることです。「手抜きをせずに力を抜く」手抜きは人に迷惑をかけますが、力を抜くことです。肩に力が入りすぎるとかえってうまくいきません。

◇すべては自分の心の鏡

仏教は「因縁果報、縁起の教え」です。すべてのことには原因と結果があります。蒔かぬ種は生えないということです。そして蒔いた種も芽が生えてくる縁が必要なのです。つまり自分の目の前に起きる出来事は、すべて自分に原因があり、自分の心使いを縁として芽生えてくるのです。

ある働き盛りのご主人の会社での悩みです。社長のワンマン経営やボーナスの出し方などに大いに不満があるのです。

給料の上げ下げ、事業方針の決定は社長の専権事項であり、自分の思いのままにならないのが普通です。思いどうりにならないことを思いどおりにしよう

と力が入りすぎるから怒れるのです。社長やトップのやり方がどうしても気に入らなかつたら、独立して理想どおりの会社を作ればいいのです。資金がない、人材がいらないなど批難批判はしても独立できる力がないのなら、自分の考え方を切り替えるしか方法はありません。

「すべては自分の生き方のご縁です。あなたは、実の父と物心つく前に死別し、学生時代に母を亡くし、義理の父とは意見が合わず決別しています。この因縁が切り替わらないので、職場でも上司や社長のことが喜べないのです。今からでも、無き両親のご恩に心から感謝し、亡き義父には心から懺悔し、義父を許し受け入れることができれば、どこに行っても目上の方が尊敬でき何事もうまく行くでしょう」

「先生わかりました。何度も教えて頂いておりますが、実行できない自分を反省し努力してみます」

経典に「質直意柔軟しちじきい にゆうなん」とあります。「オレが、自分が」という「我」を少なくし「そういうものですか」と心が素直で柔らかくなり、教えが分かり実行すれば必ず毎日が楽しく幸せになれるのです。

今月の運勢（4月）

（2017年4月4日～5月4日）

一 白水星

気分も明るくエネルギーに満ち運勢も強いが大きなことには手を出さないこと。始めたことは責任もって最後までやり通し、途中で投げ出さないこと。完遂しても油断しない。

二 黒土星

運気の谷間にいる。争い事は避けること。決断や勝負に出る時は、経験や人望のある長老や経験者の意見に従えば失敗はしない。新しいことを始める時も独断専行はいけない。

三 碧木星

低迷期を過ぎ徐々に運気が上がって来る時だ

が慌てない。心を大らかに持つて日々を喜ぶ余裕が大切。何事をするにも事前に皆の心を一致団結させ、優れたリーダーを上を仰ぎ、これに従えば吉。

四 緑木星

機が熟し、いよいよ好機到来。自分の目先の利益よりも相手に利益を与えれば勢いが増し願い事は叶う。他に良さがあれば素直に従い、自分に非があれば勇敢に改めれば吉。

五 黄土星

運気は絶好調。何をやってもうまく行く時なので優柔不断はいけない。活動範囲や人間

関係を大きく広げるチャンス。多くの人との出会いはさわやかさと優しさがポイント。

六 白金星

今は世界の中心にいる。慌てずどっしり構えて周囲をよく見渡し、人や事の流れをじっくり見極める時。行動的に動くことより、計画を見直したりエネルギーを蓄え、来月に備える時。

七 赤金星

計画や懸案事項を完成させるために決断決行の時であるが、強引に力で押し切ってはあとに悔いを残す。周到に準備をし仲間によく説

明し納得させ、団結をもって当たれば思いのままに事は運ぶ。

八 白土星

人との出会いや会合が楽しい時であるが、自分だけが楽しんではいけない。納得づくで自分の得することや楽しみを少し控え、相手に喜びを与えれば吉となる。

九 紫火星

辛い変化もあるが、冷静な心と太陽のような明るさを失わずにいれば心配はいらない。変化するのが世の中、辛さの後に楽しさが訪れる。困難にあっても正道を歩めば吉となる

しあわせ眼鏡

否定された時にどひする
力！
怒る人、反発する人、
じっと耐える人、
糧として前進する人、
それがその人の底力…
自分の弱みを見せられるこ
とが素直さです
叩かれれば叩かれるほど
ファイトが湧く人が
本当の勇者である

お気軽にご連絡ご相談下さい

- | | |
|---------------------|--|
| 【総本山真生寺】 〒 501-1105 | 岐阜市彦坂 178 番地
TEL 058 - 235 - 7304 |
| 【所沢教会】 〒 359-0037 | 所沢市くすのき台 1 - 9 - 5
TEL 04 - 2992 - 8236 |
| 【名古屋教会】 〒 454-0808 | 名古屋市中川区九重町 3 - 10
TEL 052 - 351 - 3904 |
| 【岐阜教会】 〒 500-8882 | 岐阜市西野町 3 - 19
TEL 058 - 262 - 9615 |
| 【大阪教会】 〒 532-0028 | 大阪市淀川区十三元今里 3-4-10
TEL 06 - 6308 - 5637 |

上記の教会にお申込み下さい。必要な冊数を毎月お送り
します。詳しくはお尋ねください。